

編集後記

序説の小林清典先生のお言葉を借りれば、「トラブルシューティング」とは「なんらかの原因により発生した異常な状態を解決し、正常な状態に復するための方法」と定義される。

過去に本誌では、胆膵関連、上部消化管関連では特集が組まれていたが、大腸領域では、なんと本特集が初とのことであり、灯台下暗しとはこのことかと思った次第である。

さて総論では、三澤将史先生らが「大腸内視鏡に伴う偶発症とトラブルシューティング」について偶発症の定義から始まり、総論を詳細に概説されている。万一時間がない読者諸氏はこの総論だけ読んでも大変勉強になる内容である。

各論は大きく7つの項目に分け、「Ⅰ. 前処置関連のトラブルシューティング」、「Ⅱ. 鎮静関連トラブルシューティング」、「Ⅲ. 挿入におけるトラブルシューティング」、「Ⅳ. 診断におけるトラブルシューティング」、「Ⅴ. 治療内視鏡のトラブルシューティング」、「Ⅵ. 緊急内視鏡関連のトラブルシューティング」についてトラブルシューティングの全てを網羅できるよう、その道のエキスパートが解説している。「Ⅶ. ゲートキーパーとしての外科のトラブルシューティング」は私が読んでも、なるほどと納得し、さらには新しい発見もあり、明日から使える Tips が満載である。

特に、最後の須並英二先生ほかによる外科の立場からの究極のトラブルシューティングである「ゲートキーパーとしての外科のトラブルシューティング」は、外科医の立場から重篤なトラブルシューティングについて詳説されており、全ての内視鏡医が熟読すべき内容が詰まっている。

また各論としては執筆しにくい、知っておくべきトラブルシューティングについては Note として掲載されており、是非参照いただきたい。

いつものことであるが、困った時の対処法が満載であり、内視鏡室に一冊、是非常備いただければ我々プランナー、執筆陣として本望である。

(国立がん研究センター中央病院内視鏡科
斎藤 豊)

「消化器内視鏡」編集委員会

ENDOSCOPIA DIGESTIVA Editorial Board

主 幹

岩 男 泰 赤松泰次 有馬美和子 貝 瀬 満
檜田博史

委 員

阿部展次 糸井隆夫 河合 隆 河内 洋
後藤田卓志 斎藤 豊 佐藤 公 矢作直久
山本博徳 良沢昭銘

幹 事

石田和之 今枝博之 栗林志行 小林清典
下田将之 根本哲生 藤島史喜 布袋屋 修
松田浩二 三澤将史 安田 一朗

名誉主幹

酒井義浩 田中三千雄 幕内博康 熊井浩一郎
榊 信廣* 星原芳雄* 杉山政則*

名誉委員

荒川哲男 池上雅博 池田昌弘 乾 和郎
大倉康男 大竹寛雄 沖田 極 小原勝敏*
勝又伴栄 加藤 洋 桑原紀之 桑山 肇
佐竹儀治 嶋尾 仁 竹下公矢 田中雅夫
長野正裕 長谷部 修 原澤 茂 原田 一道
平田信人 藤井隆広 藤田直孝* 藤盛孝博
安田健治朗* 矢野右人

*：シニアアドバイザー

消化器内視鏡

第36巻 第3号(通巻第426号)

2024年3月25日発行(毎月1回25日発行)

定価 3,520 円(本体 3,200 円 + 税 10%)

2024年(1～12月号, 増刊号)年間予約購読料

定価 54,120 円*(本体 49,200 円* + 税)

(*送料は弊社負担です。ただし、前金予約購読者に限りです)

※消費税率変更の場合、上記定価は税率の差額分変更になります。

編集———消化器内視鏡編集委員会
発行———株式会社 東京医科学社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-40-5

編集部 TEL 03-3237-9113 FAX 03-3237-9115

販売部 TEL 03-3265-3551 FAX 03-3265-2750

E-mail : naishikyo@tokyo-igakusha.co.jp

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社東京医科学社が保有します。

・[JCOPY] <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、一般出版社団法人著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

Published by TOKYO IGAKUSHA Ltd. Printed in Japan ©2024

広告申込所: 株式会社 東京医科学社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-26-1 TEL 03-3814-8541